

邑楽町総合教育会議議事録

開催日時：平成 31 年 3 月 25 日（月）午前 9 時開始 午前 10 時 9 分終了

開催場所：邑楽町役場 2 階 201 会議室

協議事項：（１）平成 30 年度邑楽町教育行政の成果と課題について

（２）平成 31 年度に向けて

（３）その他

出席者：金子正一町長、藤江利久教育長、岡田真幸教育長職務代理者、黒澤幸男教育委員、谷津洋子教育委員、中村郷志教育委員、関口春彦総務課長、中繁正浩学校教育課長、半田康幸生涯学習課長、久保田裕子ども支援課長、松澤修学校教育課長補佐

| 議事録 | |
|-------|--|
| 藤江教育長 | ただいまから、邑楽町総合教育会議を開会いたします。よろしくお願ひいたします。 はじめに、金子町長よりごあいさつを申し上げます。 |
| 金子町長 | 皆さんおはようございます。本日は早朝からご出席いただきありがとうございます。小学校・中学校の卒業式もありまして、特に中学生については、これからそれぞれの道に向かいます。休みの間、交通事故などに巻き込まれる可能性もあります。そういう時だからこそ、家庭と社会とがより密接にならなければと思います。さて、平成 30 年度には、中央公民館も完成しまして、9 月の開館以降大いに利用されて、造って良かったなと思っております。この利用が一過性のものに終わることなく、これからも大いに利用されて、まさに教育と文化の結びついた事業が進められればと思います。また、昨年大阪北部地震によるブロック塀倒壊事故を受け、邑楽町の小中学校においても早急に対応いたしました。これから平成 31 年度に向かっていくわけですが、小中学校では、トイレの洋式化も進めて参ります。国の第 2 次補正予算における文部科学省の交付金を活用し、高島小学校で平成 31 年度の夏休みを中心に、洋式化に向けて工事をやりたいと思っております。その後は、中野東小学校と邑楽中学校のトイレ洋式化と外壁や内壁の改修工事の準備を進めていきたいと思っております。予算の関係で一度にできないという事もありますが、そういった施設整備については、進めていかなければならないと思っております。教育の内容についてはこれから担当の方から具体的な報告があると思います。特に学校教育の成果の中で、一昨年、昨年から英語力の取り組みというのがありました。生涯学習課の問題も真剣に取り組んでおりますのでよろしくお願ひします。 |
| 藤江教育長 | ありがとうございました。会議の進行につきましては、町長が議長となり、進めさせていただきます。町長、よろしくお願ひします。 |
| 金子町長 | それでは、ここからは私が議長となり進めさせていただきます。 協議を始める前に、運営要綱第 8 条第 3 項に基づく教育委員の議事録署名人について、本日の会議の議事録署名人を谷津教育委員にお願いしたいと思います。谷津教育委員よろしくお願ひいたします。 協議に入ります。協議事項 2 平成 30 年度邑楽町教育行政の成果と課題について |

議事録

松澤学校教育課長補佐

及び平成31年度に向けてを一括して、学校教育課、生涯学習課、子ども支援課からそれぞれ説明をお願いします。まずは、学校教育課関係について、松澤課長補佐より説明をお願いします。

学校教育課の松澤です。よろしくお願いします。平成30年度に学校教育課として力を入れて取り組んできたのは、道德教育・英語教育になりますので、この2点について説明させていただきたいと思います。まず、道德教育研究班というのを、邑楽町教育研究所の中に昨年度作成しまして、そこを中心として道德教育を進めて参りました。その中で授業改善が進んでおります。昨年度も授業改善が進んだとお話しさせていただきましたが、今年度それがさらに進んでいるという事を、各学校の授業を見る中で、非常に感じております。研究班で取り組むことにより、同一歩調で各学校の授業改善が進んだことが一番大きかったかなと思います。各学校から道德教育推進教師が集まっておりまして、6人全員が研究授業を行いました。それぞれの学校で授業を行ったことにより、その学校の先生も授業を見に来ることができます。その具体的な授業のイメージを、すべての教員で共有できたことが、授業改善につながったと思っております。また、保護者を巻き込む学校が増えてきております。授業の振り返りのプリントを家に持ち帰り、そこから保護者のコメントを頂いたり、学期末や年度末に保護者から意見を頂いたりしています。学校評価のアンケートの中でも保護者が道德教育について子どもと話をしたという項目において、だいたい数が増えてきております。子どもが道德のことについて、家に帰って話をするというような授業、活動が増えてきた現れかなと思います。続いて英語教育の充実についてですが、現在、ALTを全校に配置させていただいています。授業だけではなくて、給食や掃除、休み時間、学校生活全体でALTと関わるのが、各学校で定着してきております。また、昨年度から始まっていますが、今年度も同じように中学校教諭が小学校で外国語活動の授業を行っております。このことによる大きな成果としては、中学校の先生が行う授業を小学校の先生が見るという意味で、小学校教諭の授業力向上や多忙化解消が図られます。中学校側にとっても、小学校の外国語活動の授業を理解することにより、それを踏まえた中学校での学習を計画することができるという事で、大きなメリットになっています。邑楽町教育研究所では平成17年度から30年度までの14年間、英語教育について取り組んで参りました。今年度は評価テストや所見文例、年間計画等を作成しております。国の方からいろいろな指導資料が次々ときますので、それらを年間計画に盛り込んでいかなくてはならないという事があり、毎年少しずつ手を加えて作成しているところでございます。次に、今年度から英語検定料への助成を始めました。国や県の英語改革の中で、中学校卒業までに英検の3級以上の力を身につけることが示されているわけですが、経済的に英検を受験できないというようなことがないように、3級以上の検定料に対して助成し、積極的に受験できるようにしました。昨年度に比べて受験する生徒が増えました。今年度の新たな事業としては、「おうらイングリッシュキャンプ」を行いました。夏休みに1泊2日で、すべて英語漬けの生活をしました。周知不足のところもあり、参加者は多くありませんでしたが、ALTといろいろな活動を通して、本当に身近な中で英語を使うということで、非常に密度の濃い

議事録

2日間だったのではないかと思います。参加した子どもたちや保護者からの反応もよかったので、継続していくことによって参加者の増加も見込まれるのではないかと思います。続いて、「積極的な学校公開、情報発信」ですが、それぞれの学校でホームページ等を利用したり、様々な機会に学校に地域の方々に来ていただいたりと取り組んでいるところでございます。続きまして、「学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、連帯感を持った児童生徒の健全育成」ということでは、いろいろところで、町の方々、地域の方々に協力を頂いております。先日行われましたいじめ防止子ども会議でも、いろいろな方に参加いただいて、学校の取り組みについてご理解頂いたり、ご意見を頂いたりと非常に充実した会になったと思います。課題等もございます。まずは、道徳教育の充実についてです。今、順調に道徳の授業を要とした道徳教育を各学校で推進しているところではあります。全県への発信ということでは、まだ十分でないところがあります。平成31年度も継続して、県と国の方から道徳教育総合支援事業の委託を受け、全県の発表を12月4日に計画をしております。授業を見ていただいたあと、3年間の取り組みについて全県の先生方に、邑楽町の取り組みを広めるとともに、広く意見をいただいて道徳教育の更なる充実を目指していきたいと思っております。続いて英語教育の充実についてでございますが、今、町で取り組んでいる事業については、継続して充実させて取り組んでいきたいと思っておりますが、小学校の英語教育が充実してきていますので、中学校の英語教育の高度化に向けた準備を進めていくことが大事になってくるかと思います。今後は、この中学校英語教育の高度化に力を入れていきたいと思っております。

金子町長

続きまして、生涯学習課関係について、半田課長より説明をお願いします。

半田生涯学習課長

平成30年度邑楽町生涯学習の成果と課題、そして平成31年度に向けてということでご説明させていただきます。まず、中央公民館の建設工事につきましては、先ほど町長からもお話しがあったとおり、平成30年度で無事完了し、備品等の整備も今年度末ですべて完了しました。9月1日にオープンし、それ以来多くのイベント等を行っております。平成30年度に邑の森ホールで実施した事業としては、主催事業14本、共催事業8本を7か月で実施したということで、職員にはかなり無理がいつてしまっていると思っております。平成31年度については、この7か月で行ったものを、1年に振り分けて、平準化して活動していきたいと考えております。主催事業につきましては、基本的にアンケートを取るようになっておりますが、来場者について、町内と町外の割合は4:6となっており、やや町外の方が多という状況です。アンケート結果では、95%くらいは「よかった」という回答をいただいております。町の知名度アップや交流人口の増大にも大きく寄与し、町民の文化向上という点からも、町外から人を呼び込むという点からも、成功しているのではないかと考えております。また、平成30年度から公民館等の使用料の有料化を行いました。現時点で、見込みも含めて年間で約100万円の歳入増となっております。職員体制につきましては、今非常に悩ましく思っております。中央公民館の開館にあたって、長柄公民館・ヤングプラザ・町民体育館から1人ずつ職員を中央公民館に持っていったわけですが、それでも事業量の

議事録

増大になかなか追いつけずにあります。また、減員となった3施設でも多くの困難が生まれており、その対応も課題となっております。平成31年度につきましては、こういった実態も踏まえて、年間を通して事業を平準化することや事務担当の見直し、調整等を進めていく必要があると考えております。続きまして、青少年育成についてです。子どもたちが直接体験活動を行い、思い出をつくっていくような事業の成果が上がっていると思います。具体的には、リーダーキャンプやおもしろ科学教室、子ども八木節への支援等、いろいろな取り組みを公民館等で行って参りまして、多くの方にご参加いただいて、年の経過で増えたり減ったりはありますが、基本的には定着をして、しっかり根付いているのではないかと考えています。また、これまで来なかったような層として、町民劇団や吹奏楽団に小学生・中学生・高校生が加わって、大人と一緒に活動する、そういった子どもたちが中央公民館に足を運ぶという今までになかった大きな成果が上がっています。世代間交流という点でも、それから社会教育に関わる青少年の増加という点でも効果が上がっているのではないかと考えています。続きまして、学校・家庭・地域連携協力推進事業でございます。具体的には、学校地域連携本部であるとか、あるいは放課後子ども教室とか、高島小で先駆的な取り組みがなされていますが、なかなか町内全域的な取り組みができていません。教員の多忙化に対する懸念もあり、この部分をどうクリアしていくかというのが大きな課題と考えているところです。次に、ヤングプラザの位置づけの見直しを平成31年度に考えていきたいと考えております。県内では最大8施設ありました勤労青少年ホームが、平成31年度におきましては、高崎市と邑楽町の2箇所だけになってしまい、近隣では太田市も館林市も平成30年度に廃止することになっております。そういったことも踏まえて、邑楽町の中でこういった青少年施設の位置づけを考えていくかを、今後の大きな課題として進めていきたいと考えております。具体的には、ヤングプラザの高島公民館への移行ということも含めて、平成31年度の課題として検討していきたいと考えているところです。次に、芸術・文化の振興という点で、文化財行政については、着実な取り組みを進めてきました。特に特定外来生物の飼養等許可を取得し行っている外来魚駆除大作戦は、全国でも邑楽町だけがやっている取り組みとして、マスコミでも大きく取り上げられ、本年度は笹川政務官が来町して、環境省のお墨付きももらったというようなことで、先駆的な取り組みとして注目を浴びているところです。また、中野沼水生動植物調査も3年間行い報告書が完成しました。群馬県ではすでに絶滅したと思われていた植物も発見され、それ以外にもレッドデータブックに載っているような貴重な植物がたくさん発見されたということで、植物学の世界では注目をされています。芸術文化という点では、中央公民館のオープニングイベントについて、専門家の方から、町村のレベルを遙かに超え素晴らしいとお褒めを頂いたところでございます。今後もそれを一過性のものに終わらせずに、引き続き「邑楽町発」の文化の発信というものを進めていきたいと考えており、来年度の予算等もご配慮いただいているところです。次に、生涯スポーツの推進についてです。軽スポーツの普及に一生懸命取り組んで参りました。特に今までと大きく違うところでは、スポーツ推進委員の皆さんが大変献身的な努力をしていただきまして、町内の様々な行政区や施設等に積極的に出向いただき、軽スポーツの指導等していただ

議事録

いております。これをより確実なものに、より多く取り組んでいけるように、引き続き地域の皆さんに呼びかけていきたいと考えています。また、平成 30 年度は町制施行 50 周年ということで、ソフトボールの宇津木妙子さんの講演会や実技講習会、少年野球の実技講習会、サッカーの実技講習会等様々なスポーツ関係の事業が取り組まれました。また、町民体育祭やスポーツ推進大会でパラアスリートにパフォーマンスをしていただくなど多くの事業が行われました。これを次の事業展開につなげていきながら、次世代のアスリート育成、町民の健康維持のために取り組んでいきたいと考えております。

金子町長

続きまして、子ども支援課の久保田課長から説明をお願いします。

久保田子ども支援課長

子育て支援事業につきましては、昨年度の総合教育会議にて説明しました事業内容と変わりはありませんが、平成 30 年度新規事業実施としましては、2 つの事業があります。一つが子ども・子育て支援整備事業で、長柄小学校の南側にあります NPO 法人くらかげ広場が国・県・町の補助を受け、学童保育施設を増設することができました。これにより学童保育所の支援単位数が増え、利用人数の拡充を図ることができるようになりました。もう一つは、第 2 期邑楽町子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査を実施いたしました。以前、教育委員会の会議でお話ししましたが、就学前児童保護者のうち 600 人を対象とし、また、小学生保護者のうち 400 人を対象にアンケート調査を実施いたしました。アンケート調査報告書ができましたので、お手元の子ども・子育て支援事業に関するアンケート調査報告書をご覧ください。調査概要を少しだけお話しさせていただきます。回収状況は、就学前児童保護者につきましては、配布数 600 人、回収数 398 件で回収率は 66.3%です。小学生保護者につきましては、配布数 400 人、回収数は 270 件、回収率は 67.5%です。平均しますと 66.9%の回収率となります。前回 5 年前の第 1 期計画策定に向けたアンケート調査では、配布数は同数で、就学前児童保護者は回収数 344 件、回収率は 57.3%、小学生保護者は回収数 210 件、回収率は 52.5%、平均で回収率 54.9%でした。今回は前回と比較しまして回収率が 12%増となりました。続きまして、母親の就労状況ですが、フルタイム就労は、24.1%で 5 年前より 3%増えています。そしてパート・アルバイト等の就労が 37.2%で 5 年前の調査結果の 19.8%より大きく増加しています。平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてですが、幼稚園や保育園、認定こども園などを利用しているが 76.1%で 5 年前より 12.1%増えています。また、利用している教育・保育事業としましては、認可保育園と認定こども園の保育利用を合わせると 57.1%で、5 年前の保育園利用が 46.4%でしたので 10.7%増えています。一方、幼稚園と認定こども園の教育利用を合わせると 38.2%で、5 年前の教育利用は 48.6%ですので 10.4%減となっております。教育・保育の事業を利用する理由としまして、「子育てをしている方が現在就労している。」は 72.9%、5 年前では 56.4%でしたので、16.5%増となっております。このように、何点かみても就学前児童の保護者の就労状況が以前と変わってきていることが伺えますし、それともなって、保育園などの保育利用が増加して、幼稚園などの教育利用が減少していることも伺えます。他のアンケート結果につきましては、後日ご覧いただければと思います。続きまして、平成 31 年度子育て支援に

議事録

関する事業の新規事業についてです。邑楽町子ども・子育て支援事業計画策定事業ですが、先ほどのアンケート調査報告書もでき上がったばかりですので、今後、この調査結果を基に、平成 31 年度に子ども・子育て支援事業計画の内容検討をし、第 2 期の 5 年間の計画策定をしていきます。次に、幼児教育無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点から取り組まれるものです。本年 10 月から幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する 3 歳から 5 歳のすべての子どもたちの利用料が無償化になる予定です。また 0 歳から 2 歳児の子どもたちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化するものです。今後、詳細が国より示されると思います。子育て世帯向けプレミアム商品券事業は、消費税率引き上げにより子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、子育て世帯向けプレミアム商品券の発行・販売を行う事業です。商品券につきましては、3 歳未満の子どもがいる世帯を対象に 25,000 円分を 20,000 円で販売するものです。商品券使用期間は、本年 10 月から来年の 3 月末までの予定で検討していきます。町内業者で使用出来る形になる方向でございます。今後の課題としましては引き続き、子ども子育て支援の充実、待機児童の問題、またそれに対する対策としての保育士等の職員確保につきましては、継続的な課題となっている状況です。

金子町長

平成 30 年度の成果と課題についてと平成 31 年度に向けてということで、それぞれ関係する担当の方から説明がありました。これからは皆さんのご意見・ご諮問等を頂きます。よろしく申し上げます。今、子ども支援課の方から説明がありましたが、国の方も緩和が出ていまして、施設の方は充実していますが、保育士・幼稚園の先生の確保が難しく、大きな課題になっています。

久保田子ども支援課長

そうですね。まず施設的な部分につきましては、現状は充足されていると思われます。今後、保育利用の部分が増えてくる可能性が、まだ数年続くのかなという感じでございますので、施設についても子ども 1 人当たりの面積基準もあり、だんだん厳しくなってきたのかなという状況がございます。また、先ほども町長からお話がありまして、保育士の確保が大変な状況となっています。これは公立だけではなく私立も同じ状況です。悪くいえば職員確保の競争になってしまっているような状況です。来年度につきましては、幼稚園の人数が 20 人くらい減少し、その分がそっくり保育園利用の増となります。職員数については、1 歳児ですと子ども 6 人に対して職員 1 人が必要で、子ども 20 人では 4 人以上の職員が必要になります。0 歳児になりますと、子ども 3 人に職員 1 人が必要となりますので、子どもの人数が増えなくても、低年齢児が増えればその分、職員の確保がより必要になり、更に厳しい状況となってしまうところがございます。

岡田委員

この 10 年くらい見ると幼稚園児がぐんと減ってきているわけですね。

議事録

久保田子ども支援課長 昔ですと低年齢児の0歳から2歳児を見ますと、町内の30%くらいの子どもたちが入園していましたが、今は50%近くになっている状況です。国としては女性の就業率80%という数字が出ていますが、その状況に保育の受け皿の整備が追いついていけるような状況ではないというところがもどかしいところです。

岡田委員 保育園の保育料は、保護者の収入によって変わるとは思いますが、最高でどのくらいですか。

久保田子ども支援課長 最高で46,000円です。

岡田委員 それが無料になるのですか。

久保田子ども支援課長 そうですね。

岡田委員 そうすると高額世帯ほど補助が大きいということですね。

久保田子ども支援課長 そうですね。高額所得者に対して優遇されているみたいにも見え批判もあります。特に3歳から5歳までが無料になる形なので、世間的には幼児教育無償化という言葉だけ広まっていく中で、すべてが無料になるかということになります。無償化については、先ほどの高額所得者を優遇するのではないかという批判は一部出ているような状況聞いています。実際の実施は10月からになり、これは幼稚園・保育園・認定こども園以外でも、認可外の保育園関係とか、ファミリー・サポートセンターなども対象になります。無償化の細かい部分については、これから国から示されることになり、事務的にも大変なところがあると思いますが、皆さんに理解して頂く部分もいろいろ細かくなりますので、難しいところが出てくるのではないかなと思います。

金子町長 学校に上がってからは児童館もいっぱいになってきています。

岡田委員 今、児童館と民間の学童保育も多くの子がいます。それを3人で見ているのだから非常に大変です。

久保田子ども支援課長 児童館につきましては、授業が終わった放課後ですが、午後5時までの利用と留守宅児童という名称で午後5時以降も見えています。無料ですので利用する児童は多いですし、職員もなかなかその人数に対応するには、厳しい状況になっていると思います。民間のくらかけ広場も拡充されましたが、今の保育園の状況を考えていくと、小学校に上がれば、児童館や学童保育を利用すると思いますので、児童館の充実も考えていかなくてはならないと思います。

岡田委員 学童保育の利用料はいくらくらいですか。

議事録

| | |
|------------|--|
| 久保田子ども支援課長 | 今、民間で2箇所ありますが、だいたい月1万円くらいだと思います。それに対して町では、多子軽減という形で補助をしています。 |
| 関口総務課長 | 学童保育所自体の運営に対しては、国・県・町からの補助金があり、保育園の運営と同じような形となっています。利用料については、1万円くらいで、2人目は半額、3人目は無償となるよう町から補助をしています。 |
| 金子町長 | 各小中学校に英語教師に来ていただいています、その辺のところはどうなんですか。 |
| 松澤学校教育課長補佐 | 邑楽町は、来年度からですが、小学校の英語の授業を3・4年生が35時間、5・6年生は70時間計画して、各学校でカリキュラムを組んでいるところです。さらに1・2年生は、週1という単位時間はとれません。ときどきALTの先生が来て、英語にふれる授業を行っています。 |
| 黒澤委員 | 資料の中で少子化とありますが、子どもたちが今後10年間どういうことになるのか、増えるのか減っていくのか、前段で子どもの数の推計などが示されているといいかなと思いました。 |
| 関口総務課長 | 平成31年度に策定する子ども子育て支援事業計画というのは、子ども支援課の事業計画なので、施設はどのくらい必要であるとか、その前提は今言った利用者の数、子どもの数そのものと、そのうちどれくらいの人が施設に預けるのかというのを推計した上で作ることになります。その前段として、保護者の方々がどういう状況にあって、現実に子どもがいる方がどういう状況にあるかというのを把握することになりますので、子どもを預けたいという率を実際の子どもの数にかけて、このくらい利用になるのではないかとということを出します。その前のどれくらいの子どもがいるのかというのは、出生や今の人口の状況などを基礎数値に入れていくことになると思います。人口が減ってくる、子どもが減ってくるというのは昔から言われていたことで、そういう中で保育園なども増やす必要はないだろうという考えが以前はありました。結果的に子どもは減っていますが、社会状況の変化で預ける親が増え足りなくなってしまったので、今後計画するときには、それらの状況をきちんと考えなければならないと思います。 |
| 金子町長 | 昨年、おうらこども園が開園しましたが、国の管轄は内閣府なんですよ。 |
| 関口総務課長 | 内閣府に文科省と厚労省から職員が配属されています。認定こども園についての説明には、文科省出身者と厚労省出身者の両方が来ますので複雑に感じます。 |
| 久保田子ども支援課長 | 事務的な仕事では、幼稚園と保育園の両方の事務をやらなくてはならないということが職員にとっては大変なようです。認定こども園が開園しまして、1号認定の教育利用の関係の方は、今までの体系とがらりと変わっている部分もありますが、園長から聞いた話では園評価というものをした中では、1号認定の教育利用者の評価は上がっているというようなことも聞いています。これについては、職 |

議事録

| | |
|------------|--|
| | 員が日々努力している結果が成果につながっているのではないかなと思っております。 |
| 岡田委員 | 市町村によって公立の幼稚園・保育園がないというのは、歴史的なものでしょうか。 |
| 金子町長 | 邑楽町の場合はやり手がいなかったもので、公立で幼稚園を造りました。公立で運営しているところは数少ないですね。 |
| 久保田子ども支援課長 | 邑楽町は幼稚園・認定こども園・保育園の3形態あります。県内でもこういう形は少ないと思います。大泉町ですと保育園は町立がありますが、公立の幼稚園はないです。千代田町は来年度認定こども園という形で、公立2園となります。明和町は公立の認定こども園1園という形になっています。太田市は全部私立という形になっています。 |
| 岡田委員 | 別件でよろしいでしょうか。今年の夏は、暑いのにプール中止の放送があったりしましたね。 |
| 松澤学校教育課長補佐 | この基準を超えると熱中症になる可能性が高くなるという国の指標があり、それを踏まえてプールを中止とする放送をしました。 |
| 金子町長 | そういう指標があるのですか。 |
| 松澤学校教育課長補佐 | あります。今まではプールは水の中なので、冷たく熱中症にはかからないだろうという考えでしたが、医学が進んできて、水の中でも熱中症にかかることが分かりました。それが危険だということと、行き帰りの道でも熱中症の危険が高まるということで、中止の放送を今年度初めて流しました。 |
| 岡田委員 | 学校にエアコンが入っていたからよかったですね。 |
| 松澤学校教育課長補佐 | 普通は、集会などを体育館でやるのですが、あまりに暑いので体育館に集めるのではなくて、教室で放送して集会の代わりとする学校もありました。教室ならエアコンがありますので、そうした対策をした学校もありました。 |
| 岡田委員 | 電気代はすごいでしょね。 |
| 半田生涯学習課長 | 中央公民館では、1番暑いときは9月だったと思いますが、月75万円でした。 |
| 関口総務課長 | 役場が月50万円くらいです。 |
| 半田生涯学習課長 | 冬場の2月は90万円くらいでした。 |

議事録

| | |
|----------|---|
| 黒澤委員 | ホールのステージの冷暖房はどうなっていますか。 |
| 半田生涯学習課長 | ステージのところにエアコンはありません。音響反射板などもあり構造上設置できません。前ぜりあたりのところにエアコンの吹き出し口があって、舞台に向かって出ています。 |
| 関口総務課長 | 建物がコンクリートのかたまりで全体的に広いですが、夏にはひんやりしているということはないですか。 |
| 半田生涯学習課長 | やはり違います。特に北側のバックヤードなどは、明らかにほかの部屋と比べると涼しいです。逆にいうとコンクリートのかたまりなので、一度暖まってしまうとなかなか冷えないというような事もあります。 |
| 関口総務課長 | あのような広いところは、空調をつけっぱなしの方がかえって安いということがあるかもしれません。 |
| 半田生涯学習課長 | 急激に冷やすと、その使用量の最大値によって電気料の基本料金が上がってしまうということもありますね。 |
| 谷津委員 | かえってつけっぱなしの方が安くなるのかなと思ってしまう。 |
| 半田生涯学習課長 | 可能性としてはありますが、実際に試すのはちょっと怖いですね。 |
| 金子町長 | 協議いただきました平成 30 年度邑楽町教育行政の成果と課題についてと平成 31 年度に向けてについては、以上とさせていただきます。ありがとうございます。次に、その他ということで何かございますか。ないようですので、総合会議を閉じたいと思いますがいかがですか。 (異議なしの声あり) |
| 金子町長 | ありがとうございました。皆様のご協力によりまして、本日の協議事項については以上で終了させていただきます。 |
| 藤江教育長 | 皆さんありがとうございました。以上をもちまして、邑楽町総合教育会議を閉会いたします。 |